



## 代田・九条の会 16周年 「史実と体験から“戦争だけは駄目”の思いを」

11月23日(土)午後、ステンドグラスの映える秋晴れの東京都民教会礼拝堂に於いて、代田・九条の会 16周年のつどいが開催されました。

- 1) 岩瀬 薫さんの司会で、はじめに教会の岡崎 岳牧師より「利権がらみの政治、軍事費の閣議決定、ジャーナリストは底が抜けていて等々、最後の砦は憲法九条」との挨拶を受けました。
- 2) 続いて川嶋 みどりさんの講演「史実と体験から“戦争だけは駄目”の思いを」です。  
93歳とは思えないご自身でスライドを操作しなから、マイクを持って90分間お話をされました。(内容の紹介は次ページ)
- 3) 休憩の後の質疑討論では3人の人から質問・意見がありました。
  - ①引き揚げて来る時のことをもう少し話してほしい。→敗戦になった途端に近所の人が土足で入って来て大事にしていたお雛様等持っていった。  
列車を引き離され、取り残されそうになるなど命懸けの引き揚げでした。
  - ②大連から連合国が準備した引き揚げ船に乗って帰ってきました。現在日中友好協会に関わっています。
  - ③下北沢駅のオオゼキ店の前で「ガザのプラカード」を持って宣伝をしていた時に、イスラエル人が通りかかりスマホを介して話になった。その人は日本に3年住んでおり兵隊に行ったこともある。→ガザでは4万5千人が亡くなっている。イスラエルには米国が支援している。ウクライナのこと其々に2国間の問題ではない。
- 4) 参加者は32名。講師が川嶋みどりさんということで日赤関係・松沢病院の看護師の参加があり、会のニュースで参加された方以外にポスターの掲示2名、ポストインのチラシ1名の参加がありました。犬の散歩中の方が教会のポスター掲示をみて資料を持ち帰りました。

### 川嶋みどりさんのメッセージ

「戦中の空気を吸った最後の年代の1人として、またいのちを守る仕事を70年以上続けてきた看護師として、さらに男性兵士に伍して戦場で看護に当たった先輩看護師らの苦悩と葛藤を通して、戦争だけは如何なる理由があっても防がなければならない」という強い思を共有することが出来たと思っています。(代田5丁目・事務局・小澤 清子)



写真：小澤満吉さん撮影

## お話と沢山のスライドの中から、重要と思った箇所を抜き書きしました

\* 尊厳、いのち、暮らしを脅かす要因

①健康—難治性疾患 ②自然災害 ③感染症 ④最大・最悪の破壊要因⇒戦争  
人間の力で止めることが出来るのは戦争

\* 戦時救護看護師の悲痛な体験と葛藤

死んだ兵士たちの雑糞には家族や若い者たちの写真 山積みされた遺体置場に手向ける花もなく、ただ手を合わせ祈るばかり。あの兵士たちの顔が頭から離れず 彼らの訴えたいことが 未だに私に伝わってくる

\* 戦時下の救護看護師

バラック造りの兵舎病院は前線からの負傷者であふれていた。どろどろの軍服 危篤の若い兵士らの腫 学徒の傷兵たち挙手の礼 いのちを助けた兵士らは再び戦場に行き死に 助ければ助けるほど殺されることになる  
いのちを守る職能を活かせず矛盾にさいなまれ従軍看護師としての葛藤に苦しんだ。

\* 加害の歴史も忘れまい

侵略戦争に抵抗した中国の民間人を人体実験、生体解剖の材料に。戦後、731部隊の関係者は誰も戦犯として裁かれず、国立大学医学部、製薬会社での高い位置に就き、非人道的研究を流用して学位論文にした人物も。

\* いまも昔も非戦闘員の犠牲・苦痛

戦争は多くの人々の生きる権利を奪い 不条理な苦しみは非戦闘者にも

\* 敗戦・引き揚げ後の苦しい生活

\* 新憲法発布：半信半疑と解放感

1946年11月3日、日本国憲法発布 新しい社会科の授業1日目  
主権在民 天皇は元首ではなくなった  
恒久的平和主義 戦争放棄と戦力を保持しない  
基本的人権 個人として尊重される権利

「永久に日本は戦争しない国に」信じられない思いと開放感の記憶

\* 人間の尊厳を担保する平和

限りある寿命を全うして死ぬ それが人間の尊厳というもの  
戦争は未来ある生命を容赦なく殺す

\* 「いのちは ひとりに ひとつ たったひとつの おもたい いのちだから  
ぶきなんかいらぬ」 日・中・韓平和絵本 浜田桂子より

\* 次代につなぐ戦争記憶を＝想像力で

体験していなくとも 歴史から学び、想像して行動を起こせる可能性

\* 平和への祈りから守り抜く行動へ

みんなで非戦・平和の世論を高める  
人間の尊厳は平和であってこそ 脅かす兆候を敏感にキャッチし  
未来の子どもたちに平和のバトンを渡そう  
1人1人が私にできることは何かを考え伝えましょう。



従軍慰安婦、細菌戦、毒ガスの犠牲者、原爆被害者、アジア諸国の日本軍属者・強制連行労働者ら

## 数字から見た第二次世界大戦

	戦死者数	民間犠牲者数
日本	230万人	80万人
米国	29万2千人	
ソ連	1450万人	700万人以上
中国	132万4千人	1000万人以上
ドイツ	285万人	230万人
ポーランド	85万人	577万8千人
ホロコーストによるユダヤ人犠牲者		600万人

厚生省労働省資料 日本以外は英国タイムス社  
「第二次世界大戦歴史地図」より

## 戦争に道ひらく悪法と大軍拡 NO!

秘密保護法  
集団的自衛権  
安保法制  
共謀罪(組織犯罪処罰法)⇒人権抑圧と思想弾圧  
重要土地利用規制法  
経済安保推進法  
国民保護法 武力攻撃事態 緊急対処事態  
自衛隊法 103条 → 病院が自衛隊の衛生機関  
大軍拡予算で世界3位の軍事大国への道  
→ 憲法9条の危機  
国民のいのちと暮らしを守るための緊急対策  
防災対策(治山、治水) 格差是正 社会保障充実へ

学び、知り、拡げ、挑戦、平和と暮らしを守り抜くために

# 代田・九条の会 16周年のつどい アンケートより 1

## 1. 川嶋 みどりさんのお話について、ご感想・ご意見など;

- あらためて、非戦の言葉を聞かせていただきました。実体験も含め説得力がありました。
- 子どものころから女学生時代、看護師としての実際の経験に基づいたお話は強烈。確かな記憶にも感動しました。スクリーンの文字があってよくわかりました。
- 今まで本や報道などで聞いていた戦争の悲惨さについて改めて具体的にお話を聞くことができ、戦争だけは絶対にやってはいけないという思いを強くしました。平和に向けて日々活動されている姿に頭が下がります。
- 日本の加害責任に触れられたことは大切だと思いました。
- 川島さんご自身の戦前の経験のお話は初めて聞きました。視点がはっきりしているので、すべてが感動的で、涙が止まりませんでした。
- 戦中生まれというだけでなく、戦争 No、平和への熱い思いがあふれていて感激しました。私も、戦争を知らない世代の人たちへ語り継がなくては、このキナ臭くなってきた状況を阻止しなくては、と思いました。
- 戦争の加害者も被害者も平和な生活ができなくなる。やってはいけないこと。そのためにも憲法9条は改憲させられない。
- 戦時下を生きてこられた生活体験と戦争の悲惨さ、私たちがなすべき大事なことなど、良い話を聞くことができ、ありがとうございました。
- 93歳という高齢にもかかわらず、多岐にわたり、沢山の資料を集め、まとめて、すごいな、と思いました。引き揚げ時の大変さ・苦労した話を聞かせていただき、貴重な体験でした。私も、動けるときは微力でも反戦の活動をしなくては、と思いました。
- とても貴重なお話でした。日本人として加害した立場でもあることは歴史的な事実です。
- 貴重な大切なお話を教えてくださってありがとうございました。対面でのご講演、心に届くものが大きくありました。
- 戦争の現実を確かめられました。
- 先輩方の苦労を知ることは大切だ。また、それを次に伝えるのは私たちの義務と考える。
- 大変わかりやすく、生活に根差したお話。響きました。(何を食べていたか、兵士の下着を縫うときに歌を歌っていた、など)
- 若者の政治離れ、無関心。世界的な極右政党の台頭・強化。今、起きている戦争とともに、胸がふさがれる思いです。怒りの心、広げる行動など、持続する以外はないのかと。何か楽しみながら。



# 代田・九条の会 16周年のつどい アンケートより 2

## 2. 今日のつどい全体について、ご感想・ご意見など:

- ・もっと多くの人に聞いていただきたかった。  
「加害者の歴史を忘れてはいけない!!」ということ、現代の若者たちにどのように伝え、理解させられるのでしょうか?
- ・岡崎牧師のお話も時宜を得ていてとてもよくわかりました。
- ・時期を得たつどいだと思います。
- ・とってもしっかり会でした。会場にもほっとした雰囲気、参加できました。
- ・ロシアのウクライナ攻撃も収束せず、中東ガザでも犠牲者は増えるばかりで、さらに中国も台湾を狙っています。このような時期に適した取組みと思いました。
- ・神田の古書店で国書刊行会出版の戦前の時期の写真集を購入しました。とても興味深い本です。
- ・戦争の考え方は基本的に同じ思いでいます。  
本日初めて参加しました。
- ・若い人にこそ参加してもらいたかったです (私は60才です)
- ・こういう機会に何度も出席することによって、失いそうになる強い気持ちを持続しなければ、と思います。感動的で有意義でした。



都民教会・岡崎岳牧師

## 3. 九条の会のとりくみについて、ご希望やご提案など:

- ・憲法9条が、日本人が世界に向けての平和第一の心の証である…このことを訴え続ける草の根の運動を引き続き進めていきたい。
- ・鳥山で入っています。ともに頑張りたいと思います。

## 4. その他 (何でも結構です)

- ・昭和19年、私は静岡市で戦災に遭い、焼け出され、浜名湖の近くの遠縁の家に疎開。20年に終戦。21年に小学校に入学しました。母は5人の子供を抱えて食べることに苦労した話をよくしました。父は21年の秋、ラバウルから生還しました。私も覚えていることを、忘れないうちに、子や孫に話しておこうと思います。
- ・戦争をすると儲かる人がいるので続くのだろう。

## 5. 今日のつどいをどこで知りましたか?

- ・会ニュース    ・掲示板    ・折り込み    ・個人的な連絡

## 韓国・ユン大統領の「戒厳」布告

韓国のユン大統領は12月3日夜、「非常戒厳」を宣布した。14日午後、国会は「大統領弾劾決議」を3分の2を超える多数の賛成(204票/300議席)で可決し、大統領は職務停止状態となった。この後、憲法裁判所の裁定手続きに入り、180日以内に罷免か否かが決まる。まだまだ流動的な情勢が続いているが、今の時点で気になっていることをいくつか記す。

1. 憲法上、「戒厳」が規定されている。
  2. 「戒厳」状態では、「国会と地方議会、政党の活動と政治結社、集会、デモなど一切の政治活動を禁じる」(戒厳布告の1条目)など、国民の活動に強い制限を加えることが可能になる。
  3. 国民の力が結集し、国会議員との協力があれば、韓国では「戒厳」を跳ね返せている。
- この先の状況は予断を許さないところだが、「緊急事態条項」を日本の憲法に書き込みたい勢力は、このような、「戒厳」による権力の占有と、国民の自由の制限を狙っているとも見える。要注意。

(代田2丁目・伊東 宏)

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、  
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～  
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++